

国語・日本語教育学会役員

代表 三宅 晶子 (研究室)

評議員 青山 浩之 (研究室)

石田 喜美 (研究室)

一柳 廣孝 (研究室)

河野 俊之 (研究室)

高木まさき (研究室)

高芝 麻子 (研究室・会計)

橋本ゆかり (研究室)

古田恵美子 (研究室)

斉藤 裕 (元鎌倉市立腰越中)

高橋あずみ (横浜中)

茅野 政徳 (学芸大学附)

新見 公康 (元都留文科大)

山下 俊幸 (関東学院大)

運営委員

石田 喜美 (研究室)

高芝 麻子 (研究室)

橋本ゆかり (研究室)

奥村 千絵 (横浜小)

会計監査

青木 太郎 (暁星高校)

徳植 俊之 (大東文化大)

〔投稿規程〕

一、投稿原稿は、四百字詰め原稿用紙三〇枚程度。CD-ROMに入力し、プリントアウトした見本一部を添えてお送り下さい。

二、投稿原稿は、評議会が選出する複数の審査委員の審査を経て、採否を決定します。なお、審査結果は、決定次第、投稿者に直接通知します。

三、次号締切は平成二十九年九月末日

一、原稿送り先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79の2

横浜国立大学 教育人間科学部 国語・日本語教育講座内

横浜国立大学国語・日本語教育学会 宛

◇ 編集後記 ◇

金澤裕之先生が昨年度三月末で退職され日白大学へ異動された。本号は、その記念特集を組んでいるが、特集号の名を立てていない。本号の執筆者は、岡田充博先生、金澤裕之先生、河野俊之先生、金庭久美子氏(立教大)、金玄珠氏(国立ハンバット大)、橋本直幸氏(福岡女子大)、植松容子氏(昭和女子大)、黄永熙氏(漢陽サイバー大)、金蘭美氏(横浜国立大)、張希朱氏(韓国外国語大)、高橋佑希氏(横浜国立大大学院修士課程二年・石田研究室)、大鋸洋樹氏(横浜国立大大学院修士課程一年・一柳研究室)、坂本主史氏(横浜国立大大学院修士課程一年・一柳研究室)、そして筆者である。金澤先生の教え子からは多くのご論文が寄せられた。金澤先生は、古い日本語については落語という音声言語、新しい日本語については作文などの文字言語を用いて研究されている。本号において、多数の学部生、修士課程修了生、博士課程修了生をご指導され、著書や論文を世に出されたのだが、『日本語教育のためのタスク別書き言葉コーパス』は、修士博士課程の修了生とともに作成された日本語学習者のコーパスである。本号には、この資料をもとに研究が進められまとめられた論文もある。あらためて、金澤先生のご功績とご貢献に敬意を表したい。

(橋本ゆかり)